

# きらり

私たちは「きらり」と輝くんや

平成21年7月1日(水) 山根

## 「新たな目標を心に持とう」

先日行われた中体連の大会では、坂越中学校の生徒はすごく頑張っていました。持てる力を十分発揮できたように思います。日頃の練習の成果が発揮できたと思います。

選手の皆さんはどうでしたか。

そんな中、勝ち進んでいる部もあります。しかし、殆どの部は終わりました。特に3年生にとっては、公式戦はこれで終わりの部もあります。いよいよ7月4日

・5日を(7月7日も)基準日に赤穂市中学校体育連盟主催の体育大会が行われる。

この大会は、西播大会、県大会、近畿大会、全国大会へと繋がって(種目により少し異なるが)いる。

まずこの試合に勝ち、次の大会へとステップアップしたい。

そのために、日々の厳しい練習に耐え、遊びたいときも我慢して部活動に励んできた。

「勝ちたい」と思い、真剣に練習した。「これ以上、自分にできることは何もない」そう思えるところまで練習した。だから、後悔はない。と思いたい……。

皆さんは、どのように思っているでしょうか。

このように考えることができるということは、「中学校時代に夢中に打ち込めるものがあつた」こと、また、「毎日ひたむきに生きてきた」という「証(あかし)」であり、充実感と満足感に満ちあふれていると思います。

しかし、現実なかなかそうはいきません。「もっと一生懸命やっておれば良かった」「あれもしておけば良かった、これもしておけば良かった」「やれることはまだまだあるはず」と思っている人の方が多いんじゃないでしょうか。

試合に勝つことは大変嬉しいことです。しかし、そう簡単に勝てるものではありません。だから、試合に負けてもかまいません。ただ後悔するような負け方だけはして欲しくないのです。

たとえ負けても「これだけやったんだ。十分だ」と思えるものにして下さい。



中学校時代の部活動で、試合に勝った人も、負けた人も、「後悔しないようにやること」「やるべき時にやる」「努力なくして、いい結果が出るはずない」ということ（勉強も同じ）を学んで欲しいのです。

部活動は、このことを、これから大人になっていくみんなが、身につけていくための学習の場です。  
がんばれ 坂中生！